

R6年度10月 普及・促進WG

資料0-1

2024/10/17

普及・促進ワーキング

★指針 木住協 入会数増大・脱退数減少

1. 会員企業満足度の向上
2. 情報交流の頻度増（社長・役職者面談重視） 相談できる懇意な会員企業数、新たなサービスの気づき
3. 木住協サービスの普及……木優活用の徹底 地盤・保険等の新規利用化
4. 木住協プレゼンスの向上

10月検討案

9月WGでは欠席者が多く方向性が纏まらず。10月WGにて再度困み課題を検討することとなった。

①前期繰越 首都圏 営業ローラー成果報告

13:30-13:45

成果報告（木優・工事保険・地盤保証・その他（セミナーなど）） 同上

*これまでの神奈川・茨城・栃木・埼玉分まとめ追記

……松澤さんまとめ

②新規問い合わせ対応書類の見直し

新規会員フォローチャートの検討結果……次ページフロー案参照

課題：引き合い入会率の向上

資料請求に対する入会率が低い。（年間入会資要求会社は約65社、その内、入会するのは約15社程度。）

*全体で入会は36社にもかわからず。

WGでは、入会資料を送付する際のお礼文から、同封書類の説明（分かり易くキャッチーなもの）を作り、その先に繋げていく工夫を考える。



●対応書類の見直し

追加案の検討

①案内文の精査・推敲

各メンバー宿題・回答に基づき案内文案作成→事務局案の提示・検討

……松澤さんまとめ

②その後いかかですか書面？ メール？ TEL？の検討

③入会申込書と併せた何に興味があるか（アンケート）を検討。

*上記仕組みを始動し、成果効率を判断。営業ローラー活動の見直しに？

今後の活動について審議

●1-②当期（11月～1月）訪問先の検討

候補リスト作成……

資料2

……松澤さん作成

候補（重点訪問先の絞り込み優先）新規入会 木優未利用 多戸数

*前提……首都圏2回目訪問未実施は完遂。